

建築カレッジは視野広げる教養科目も充実 ウッドショックの原因、歴史的背景も学習

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

Tel. 03
(5950)
1771



コロナ禍で建築に何ができるか、熱く語る森山さん

1年生の授業から

森山 高至さん

東京建築カレッジは、職業能力開発促進法に基づき、高度職業訓練専門課程「居住システム系建築科」の教育を行っています。1年次の「飯能・秩父研修」、2年次の「林業研修」や「奈良研修」、現場で学んだことを報告しあうOJT(現場実習)報告会、卒業制作と、多彩です。「建築社会論」などの学

1年生(26期生)の「建築社会論」では6月11日、建築エコノミストの森山高至さん(一級建築士)の特別講義が行われました。建築にかかわる時事問題を楽しみながら学んでもらうために昨年から行っています。

新国立競技場や築地市場移転問題ではテレビやラジオ番組で切れ味のよい解説をしてきた森山さん。カレッジ生向けの今年の授業では最初に「今、世界中が大変です。」と語りかけました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響です。その深刻さを事例で示す一方、「コロナ対策で建築ができること」を考え行動することが大切、と呼びかけました。森山さんは感染経路を科学的に分析し、

空気と床の空間対策を徹底し、商店が営業を続けながら対策を徹底できる提案が建築には求められ

NHK教育「趣味どきっ!」出演 銭湯リノベーションの達人の特別講義

今井 健太郎さん



ベストセラー『未来の年表』に沿って「建設業界・皆の仕事はこれからどうなるのか」と題し、若手建築技能者を取り巻く情勢を解説し、世の中の動きをつかんで行動すればチャンスもある、と励ましました。1年生は7月2日には、銭湯の大規模改修や新築の設計で有名な今井健太郎さん(一級建築士)の授業を受けます。今井さんは駆け出しの頃、風呂無しアパートで節約生活、銭湯の魅力に気づきました。やがて銭湯の設計を得意とする建築家の道へ。専門性を生かした仕事の創造は起業志向の研修生に刺激を与えそうです。

また、木材価格が急激に上昇し、国内では工事が止まるほどの品薄も起きているウッドショックの原因についても解説。日本の国土の7割が森林なのに、木材自給率が30%という現実を示し、経済のグローバル化のリスクを見据え、原材料の輸入依存の構造の見直しが必要だ、と解説しました。このほか、17年の



マンガ版の資料に注目する研修生

工業高校建築科の教員から

3年生の就職相談相次ぐ

来年3月卒業予定の3年生の進路について工業高校建築科の教員から相談が相次いでいます。都内のある工業高校からは堂宮大工志望の生徒の就職先について問い合わせがあり、本校に研修生派遣実績のある事業所を紹介しました。神奈川県内のある工業高校からは「施工管理でなく自分の手を動かす建築大工にこだわっている生徒が複数いる」という情報がありました。入学応募があり次第、本校の無料職業紹介所の登録事業所を紹介する予定です。

高校生向けに人数制限付きで

東京建築カレッジは8月10日（火）、江東実習場でオープンキャンパスを行います。通常は池袋校舎で実施している学校説明会を高校生中心対象に行うもので、「実習棟実習」などの本校の教育の特徴を間近に感じてもらう予定です。

実技実習系1人、設計製図系1人、本校卒業生の講師・指導員がガイド役を務めます。条件がつけば在校生にも参加してもらい、本校の魅力をアピールする予定です。午前・午後1回ずつ、感染予防のため各回10人までの人数制限で開催します。

夏のオープンキャンパス

現場で役立つ 建築スケッチの技法



理論を学び、練習すれば、誰でもスケッチがうまくなります。

1年生の授業から

東京建築カレッジには、建築スケッチの授業もあります。絵を描くことが苦手な人にも抵抗感なく学んでもらうために、遊び感覚で楽しんでもらいながらスケッチ技法の授業を進めます。「透視図法」などの理論も分かりやすく解説、階段を一段一段上げるように練習していきます。「川崎市立日本民家園」見学も建築スケッチ演習の位置付けがあります。

建築スケッチは現場の様子を仲間に伝えなければならぬ時に役立ちます。お客様が望んでいる完成後の状態をスケッチで伝えることができれば、お互いの確認が得られ、安心して作業に取り掛かることができます。スケッチは建築職人にとって大切な技術の一つです。今年の1年生（26期生）は6月に集中的に学習しました。

卒制プランを打ち合わせ中



2年生の授業から

卒業制作のテーマ決まる

6月11日の「卒制ゼミ」で2年生（25期生）の卒業制作のテーマがほぼ決まりました。この期の在籍数は11人のため3班に分かれて卒制を進めることになりました。各班のテーマ（仮タイトル）とメンバー

- は以下の通りです。
- （◎印はリーダー）
- ☆「社寺風東屋（あずまや）」―石田、◎葛西、小林、松本
- ☆「古民家利用宿泊施設想定したキッチン」―「鬼久保、高松、◎中井、宮澤、吉田
- ☆「ギミック（仕掛け）のある椅子」―◎筒井、古名

6月26日には埼玉県飯能市の林業家、井上淳治さんのガイドで、杉の下草刈り体験や林業地ウォーキングを行いました。近郊の林業地を都市の建築従事者が仕事にどう生かすか、重要なテーマです。先進的な林業家からの呼びかけを真剣な表情で聞いていました。



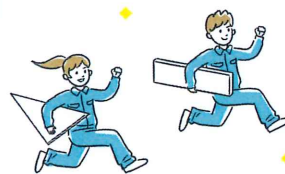
作業の合間に記念撮影

第27期生(2022年4月入学生)募集

第1回入学選考会は8月25日(水)

応募締め切りは8月20日(金)

入学願書など応募書類の取り寄せはお早めに！本校の就職支援は応募後に始まります。本校入学を保障する就職あっせんをご希望の方は早期に応募をお願いします。



東京建築カレッジ
学校紹介は
こちら⇒



お問い合わせ
☎03-5950-1771
東京土建技術研修センター
内、東京建築カレッジ